

# えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

## 学校長の方針

笛舞小学校  
3つの子どもの具体的な姿  
学校長 鹿海 圭吾

### ○目指す子ども像

- 1 自分らしさを大事にし、出し切れる子ども
- 2 もっているものを最大限発揮できるように努力する子ども

### 具体的な姿(重点)

- ①あいさつができ、礼儀正しい子ども
- ②何事も自分から進んで取り組む子ども
- ③粘り強く取り組む子ども

えりも小学校  
知・徳・体のバランスの取れた教育  
学校長 吉田 貴弘

### 重点の具体

- 知では「基礎学力の確実な定着」
- 徳では「学級経営の充実」
- 体では「日常的な体力向上」
- 働き方改革、校内・校外研修、異校種間連携

えりも岬小学校  
3つの基本方針と重点目標  
学校長 渡辺 智

### ●3つの基本方針

- (1) 安心・安全できれいな学校
- (2) 笑顔があふれ、明るい挨拶が交わされる学校
- (3) 保護者や地域と共に子どもを育てる学校

### ○重点目標

思いや考えを伝え合い、互いの良さを認め合う子の育成 ～自分を発揮できる、居心地の良いあたたかい学校を目指して～

庶野小学校  
児童がめざす児童像  
学校長 高島 誠之

### ○めざす学校像

・職員も児童も地域の方も来たくなる学校

### ●児童が目指す児童像【安心・自信・自由】

(児童が検討 知・徳・体の三つで構成)

- (知) ねばり強く自ら学び、学習に取り組む子
- (徳) やさしく、いじめなく、努力し、かかわりを深められる子
- (体) よく食べてよく遊び、元気で健康な子

えりも中学校  
「あい」で「アイ」を育てる  
学校長 矢野 渉

- 本校生徒に最も必要だと考える「コミュカの育成」を重点に設定し、全教育活動を通じて、次の3つの「アイ」を育みます。

- ① I = アイ (自分自身)
- ② 愛 = アイ (他者・自分を大切に思う気持ち)
- ③ EYE = アイ (よりよいところを見出す心、人を見る目)

- あいさつのあい、話し合い・認め合いのあい、重点に取り組みます。
- 「あい」で「アイ」を育む

北海道えりも高等学校  
スクールミッションと経営方針  
学校長 西本 健治

### ●経営方針

- (1) スクールミッションの実現に向けた教育活動の改善・充実
- (2) 情報発信と説明責任の徹底に基づいた信頼される学校づくり
- (3) 全教職員による学校運営への主体的な参画と組織的な教育活動の推進

### ●重点目標

- (1) 指導と評価の一体化を通じた魅力ある授業づくりと学びの質の向上を図ります
- (2) 地域社会との教育目標の共有及び地域の教育資源の効果な活用を図ります
- (3) 教職員の協働体制の確立と校務の効率化を図ります

各学校では、上記のことを踏まえて、日常の教育活動を計画的に立案し、教科で、道徳で、特別活動で、総合的な学習の時間で取り組んでまいります。

## 給食の補助事業を拡大 第2子以降は無償となります



- 町では、平成30年度から、町内の学校に在籍する小学生、中学生の学校給食費を負担する保護者の皆さんに対して、年間給食費の半額補助を実施してきました。
- 今日の物価高騰の中で、より一層、保護者負担の軽減を図るとともに、子育て支援を強化することを主な目的に、令和7年4月から学校給食費補助を拡大することとしました。
- 第1子は半額補助、第2子以降は全額補助となります。
- 要保護及び準保護児童生徒に係る就学援助費の補助を受けている方は、対象外となります。
- 何か、お聞きになりたいことは、教育委員会学校教育課学校教育係（☎01466-2-2525）までご連絡ください。

## えりも高校生の下校 スクールバスを増便しました

- 昨年11月に開かれた「えりも高校の未来を考える会」においても、願いとして上がっていた放課後活動の充実や保護者の皆さんの迎え軽減を図るため、令和7年4月から、近浦方面、えりも岬方面、庶野方面の生徒の送迎にスクールバスを増便し運行します。
- 運行時間は、学校出発が18時50分となります。（運行日は水曜日以外の平日）
- 天候や学校行事等により、変更または運行しない場合があります。

### 家庭も、とても助かっています。バスでは時間が決まっているので計画が立てやすいです

- 2年A組 田中一成（庶野方面）  
増便していただいて、誠にありがとうございます。
- この増便は送り迎えが大変なご家庭やそうでないご家庭も、とても助かっていると思います。
- 今までは、親の迎えで親の時間も考えなければならなかったですが、バスでは時間が決まっているので計画が立てやすいのが大きな利点です。
- このような改善は大変助かっているのです、これからも改善できることがあれば、改善をよろしくお願いします。
- 心より感謝申し上げます。

## 帰りのバスが出て嬉しかったこと二つ

- 3年A組 斎藤風咲（近浦方面）  
帰りのバスが出てうれしかったことは、二つあります。
- 一つ目は家族の負担が減ったことです。遠方から通っている生徒の中には、仕事が遅い時間に終わる家族や、昆布漁を営む家庭もあります。学校まで迎えに来る必要がなくなったことで、時間の余裕や高校生が夜道を歩くことに対しての親の心配が減りました。
- これにより、交通事故や不審者に遭遇する可能性が減り安心して下校することができるようになりました。
- 二つ目は放課後活動をする時間を考えて最後まで居残ることができずでしたが、バスが出たことによって、より長く学校で活動することができるようになりました。これからも積極的にバスを利用していきたいと思っています。
- 放課後のバスを運行してくださり、ありがとうございます。

